水道だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.21

令和5年8月16日発行 上下水道管理課 ■237-5811 ■237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状や課題、経営状況をシリーズでお伝えしています。令和4年度に第2次津市水道事業基本計画(平成30~令和9年度)の前期5カ年が終了したため、計画の中間見直しを行いました。今回は後期の主な事業を見ていきます。

計画後期(令和5~9年度)の主な事業を見てみよう!

浄水場・配水池の耐震化

- ●浄水場 診断2カ所、補強工事4カ所
- ・配水池 診断6カ所、補強工事3カ所



引き続き耐震診断を進め、補強が必要と判断された施設は、補強工事を行います。



配水池は作った水道水を貯めるところだね。

もしも地震が起きた場合でも、配水池が無事だったら貴重な飲用水を確保できて、給水活動ができるよ。

水道管の更新(耐震化)

- 基幹管路 約7km
- 基幹管路以外 約42km



基幹管路とは、浄水場や配水池に水 を送る管と各家庭に水を送る配水管の 中でも、口径の大きい管のことだよ。



※ 水道管の更新(耐震化)は、地震への備えのために欠かせないんだね。

水道管の老朽度も考慮して更新しているから、老朽管の漏水対策としても重要だよ。

機械・電気設備の更新

• ポンプや電気計装設備の更新など 約32億円





施設の統廃合やダウンサイジングを踏まえた 上で、必要な設備を計画的に更新します。

今後も人口減少が進むと予測されるから、施設規模が過大にならないようにしっかりと計画した上で、必要となるものを更新していくよ。

水管橋の劣化調査・耐震診断



水管橋の老朽化による断水事故の発生が全国 的な問題となっています。津市においても供給 範囲の広い雲出川水管橋の劣化調査や耐震診断 を早急に行います。



いろいろな事業を行っていくんだね。

水道は私たちの暮らしに欠かせないものだから、安全な水を毎日届けるために、災害対策もしっかり実施していくよ。

第2次津市水道事業基本計画(中間見直し)の詳細は津市ホームページから

